

# ふみびと

第320号  
発行所  
文通村事務局  
編集 広報部  
千葉県成田市

## 心を満たす 変わらぬ景色

### 残り続けてほしいもの

子どもの頃好きだったもの。一本十円で買えるスナック菓子や、水に溶かして飲むクリームソーダ風の粉の飲み物の元。友達と比べてお小遣いの少なかつた私が、いつも悩みに悩んだ末に選んで買っていたそれらの駄菓子。

大人になってから口にする、正直なところそんなに美味しいとは言えないものもあるのですが、懐かしさから今でもたまに駄菓子屋さん（と言っ

この春は、久しぶりに深い呼吸をして街を歩いた。軽やかな服を着て、顔を風にさらし、咲く花を見上げ、頬に光を受けるのは、心まで軽やかに浮き立たせてくれる。そんな春の空気のおかげで、今まで行きたくても行けなかった場所、したくてもできなかったこと、全部に手を出したい気持ち

になる。会いたい人に笑顔で会いに行きたい。そう思う気持ちは本当だけれど、一方でどこか尻込みしている自分もいる。長い間覆っていた顔を出すのは気恥ずかしいし、不安もある。

### 新たな「ちょうどうい」

これまで落ち着けていた腰を上げるには、少々勇気がいる。それでも、やっぱり新しい出来事を求めている自分を励ます。いきなりエンジン全開で行かなくていい。今までの不自由が教えてくれたことも大切に、新しい「ちょうどうい」を見つけてみよう。そんなことを思う春だった。



あの頃と同じような気がします。

あの頃は駄菓子の味を、今はその味の懐かしさを一口一口大事に味わうようにして。

あれから数十年、駄菓子屋さんも街の一角の、放課後に気軽にに行けるようなところにはほとんどなくなり、店員さんもおじいちゃん、おばあちゃんではないけれど、目を輝かせてお菓子を選んでいる子どもたち

の姿はあの頃の私たちと同じように思えて、微笑ましい気持ちにさせてくれます。

次々に生まれてくる新しくして美味しいお菓子に、今では海外のお菓子も気軽に買うことのできる便利な時代。そんな中でも、今も変わらずにいるものもまた、これからも残り続けて欲しいものです。

「懐かしいなあ」  
今の子どもたちもまたいつか大人になった時に、同じ景色を見られるように。



### 風船便

風船便はいつでも誰でも参加できますが、その受取は新規の方へ優先されます。誰に届くかは風次第...。送り方は簡単。下の風船便切手を切り取って手紙に貼り宛名に「風船便を受け取った方へ」と書いて、差出人名を書くだけです。事務信筒の返りには、事務局宛封下までお願いいたします。

### お知らせ

#### 5月の発送日

5月の発送日のみの都合上、15日、29日の予定ですが、送りたいお手紙がある場合には3日前（12日、26日）までに事務局に到着することを、お近くの郵便局で確認の上、ポストに投函してください。

#### 投稿イベント

#### みんなの投稿冊子

前回の好評だった「みんなの目標」に続き、投稿イベント第二弾を開催いたします。皆さんの「お気に入り」の「〇〇」を教えてください。詳細は別紙をご覧ください。お楽しみに。